

追手門学院大学 教育後援会会報



子どもの自立 ～犬に噛まれた話～

学長 坂井 東洋男

戦後まもない昭和26、7年頃、確か小学2年生だったと記憶します。

京都の町中、子犬を生んだばかりの近所の雌犬に左手首をがばつと噛まれたことがあります。すぐ家に帰って母親にそのことを告げたところ、慰めやいたわりどころか、逆に、叱り飛ばされました。子犬を生んで気が立っているのに、ぼんやりと犬の相手をしていて、おまえが悪いと。

以来、この母親には何を訴えても相談しても無駄だと、自分で決める癖がつ

きました。もちろん、母子関係が悪かったわけではなく、決めたことは必ず報告しました。母親は聴くだけで意見を言ったことはなかったです。軽はずみな決断ばかりでしたが、よく言えば自立のきっかけになったのかもしれない。

心配だからといって子どもに構ってばかりいてはいけません。口は出さずに一歩後ろで見守りながら、子どもの自立を支えていただきたいと願います。



2016年4月1日(金) 本学体育館

発行者
追手門学院大学
教育後援会

〒567-8502
茨木市西安威2-1-15
TEL 072 (641) 9669
FAX 072 (643) 9414

印刷所
株式会社 七旺社
神戸市長田区一番町2-1
TEL 078 (575) 5212

2016年4月1日(金)に2016年度学部並びに大学院入学式が大学体育館で挙行されました。

6学部8学科入学生総数・1600名、大学院入学生総数・33名の学生が緊張した面持ちで入場。

午後1時より創立50周年記念式典の「第九」でもご指導いただいたという声楽家の有元正人先生(元追手門学院小学校音楽科講師)と在学生による学院歌の紹介が行われました。吹奏楽団の演奏の中、追手門学院大学公



有元先生と在学生による学院歌紹介



入学生宣誓

式キャラクター「おうてもん」も登場し、盛り上げてくれました。午後1時30分に開式、国歌斉唱、坂井学長からの式辞に続き、学生を代表して、国際教養学部アジア学科の入学生が宣誓を行いました。

その後、川原理事長祝辞、来賓紹介と、記念品の贈呈が行われました。渡辺教育後援会会長からパステースが、林田校友会

会長から追手門学院大学の卒業生であり芥川賞受賞作家・宮本輝氏の文庫本「青が散る」が、小林卒業生保護者の会会長から大学のキャラクター「おうてもん」のクリアブックが、それぞれ新入生代表に贈られました。役職者紹介の後、追手門学院歌の斉唱で締めくくられ、滞りなく式は終了しました。



学生達の門出を祝うように晴れた3月22日(火)、スーツ姿の学生達と華やかな袴姿の女子学生達がキャンパスを彩り、大學生生活の思い出話に花を咲かせていました。

大学院修了生26名(うち博士後期課程2名)の学生達が社会人として新しい世界へと一歩足を踏み出しました。

学位授与式終了後、ホテルニューオータニ大阪にて卒業記念パーティーを開催しました。佐山千尋さんの津軽三味線による祝賀演奏で幕を開け、学生達の門出を華やかに盛り上げました。客員教授ロザンやガンバ大阪からのお祝いメッセージが上映される中、友人や恩師と晴れやかな笑顔で語り合い、記念写真を撮る姿がこちらで見られ、会場は社会へ飛び立つ歓喜の声に満ち溢れていました。



卒業生の皆様へ



追手門学院大学 教育後援会会長 渡辺 睦翁

皆様、ご卒業誠にありがとうございます。長い学生生活に別れを告げ、晴れて社会人としての第一歩を踏み出されることとなりました。

学業はもとより、課外活動、学校行事を通して友人や先生方との交流を図り、素晴らしい学生生活を過ごされ多くのことを学ばれたことでしょう。

これからはそうした様々な経験を糧として、50年の歴史を積み上げた伝統ある追手門学院大学の卒業生であることに誇りを持ち、社会が必要とする人材、社会で活躍する人材として、日々成長していかれることを願っております。

また、保護者の皆様方には長年にわたり、教育後援会の活動に対しましてご理解、ご協力を賜りましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

卒業記念品について



卒業生全員に、本会から卒業記念品として印鑑と袱紗を贈呈いたしました。

印鑑は、認印とは別に、卒業してからすぐ必要になると思われる「銀行印」として使える直径13.5mm 芯持牛角(天然素材)にいたしました。

袱紗は、これから役立ち、保護者から卒業生に社会のマナーを教え伝える良い機会にもなることを願い選定いたしました。なお、冠婚葬祭におけるマナー書を添えて、桐箱に入れて贈呈しています。

会費の引き落としについて

2016年4月より、これまで「教育後援会費」としてお引き落としされていましたが、会費名変更となり「教育振興会費」としてお引き落としされます。予めご了承ください。

※入学手続後に申し出のありました預金口座から所定の日(4/26)に学費と共に自動的に引き落とされます。



◆◆◆ 新会員歓迎会開催 ◆◆◆



入学式終了後、教育後援会の新会員となられた新入生保護者の方々を対象に「教育後援会 新会員歓迎会」を開催いたしました。

14時10分に開会となり、渡辺教育後援会会長、坂井学長、川原理事長・学院長からの挨拶の後、

大学での学びについて藤吉教務部長よりご講話をいただきました。

その後、学生生活について豊島学生部長より、自校教育について梅村基盤教育機構長よりご講話をいただき、新入生保護者の方々にこれから始まるお子様の大学生活について、理解を深めていただきました。

最後に、堤教育後援会副会長より教育後援会の活動について紹介があり、ご理解とご支援をお願いいたしました。参加された保護者の方々は、皆さん熱心に耳を傾けられていました。

「桜の縁」の開催見送りについて

例年「桜の縁」は、入学式式典及び教育後援会の新会員歓迎会終了後に、卒業生保護者の会と教育後援会の共催によって開催してまいりました。2016年度は入学式が午後開催されることになり、桜の縁の開催について役員会で検討を重ねましたが、時間的な問題から今年度は開催を見送ることといたしました。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも「卒業生保護者の会」の活動により一層のお力添えを賜りますよう よろしく願い申し上げます。

追手門学院大学卒業生保護者の会 会長 小林 武則

教育後援会活動に委員としてご協力いただける方がおられましたら、下記の「相談窓口のご案内」にございます総務課へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

また、1年生の保護者の方は、同封の「教育後援会委員就任のお願い」裏面の「教育後援会委員届出書」に必要事項をご記入いただき、FAXにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。



教育後援会相談窓口のご案内

追手門学院総務課

- ・電話 072-641-9669
- ・FAX 072-643-9414
- ・ホームページ <http://www.ogu-kyoikukoen.com>

会報100号を迎えて



教育後援会会長
渡辺 睦翁

追手門学院大学教育後援会会報が今回、記念すべき100号を迎えることとなりました。これもひとえに、教育後援会をご支援いただいております会員の皆様方、大学教職員の皆様をはじめ関係者の方々のお陰と深く感謝申し上げます。

追手門学院大学は学院の創立80周年記念事業の一つとして計画され、1966年に創立されました。その際、追手門学院の各学校、特に高等学校のPTA会員であった保護者の物心両面の協力があって大学の開学は成し遂げられました。

教育後援会の前進である大学



教育後援会会報
100号を祝す

学長 坂井 東洋男

教育後援会会報は1977年の創刊以来、このたび100号の記念すべき節目を迎えられました。まことに慶賀の至りです。また教育後援会の皆様には、平素、何かにつけて、大学をご支援たまわっています。今後とも教職員一同、皆様の負託とご期待に応えるべく、ご子弟の教育に一層尽力する所存です。

新年早々、朝日、毎日の新聞紙上で、笑学研究所を基軸にした広報が目にとまったかもしれません。その写真をもとにポスターを作成して学内の各所に貼り出しています。ピリケンさんのぬいぐるみと学長が握手している、相撲でいえば、「けたぐり」のような意表を突く広報でしたが、学生たちにも食堂のおばさんたちにも好評を博した

PTAは、その保護者が中軸となり組織されました。この流れを汲み、本会は大学と保護者との強い連帯感を生み出し、1977年8月に教育後援会と名称を変えながらも、本会独自の温もりのある活動が現在も引き継がれています。

大学は今年創立50周年を迎え、今では素晴らしい設備を備えた美しいキャンパスで6500人を超える学生が大学生活を満喫しています。

一言で50年と言ってもその歳月は大変長いもので、創立当初の学生の生活環境は今と比べ大きく異なります。私たち保護者がキャンパスにいるわが子に携帯電話で簡単に連絡をとり、休講などの授業に関する様々な情報を学生がスマートフォンやパソコンで確認できる時代の到来を、開学時には誰も想像できなかったことでしょう。

さて、この教育後援会会報は、教育後援会と名称を改めて新しい活動の一つとして企画され、1978年10月に創刊されました。

ようです。今後は正攻法で、本学の教育や研究の「売り」を発信しなければなりません。

学生たちは課外活動でも気を吐いていて頼もしい限りです。近年の学生たちは概して謙虚で素直です。謙虚さは美德ですが、若いときには多少は生意気なくらいに尖ったところがあっても良いのではないか、と思うこともあります。その感想は若いころに軽はずみな失敗をくりかえしたわが身を正當化する言い草かもしれません。なにくそという感慨のようなものを求めたい。

教職員には、時に勇み足をすすめる学生をも温かく包みこむような懐の深さを求めたい。若いときには、苦い経験を積みながら少しずつ成長してゆくもので、「角を矯めて牛を殺す」ことは厳に慎まなければなりません。今年の5月29日には大学創立50周年の記念式典を予定しています。「五十にして天命を知る」節目です。本学の「天命」は独立自強、社会有為。この創設の志、すなわち人材育成をたんなるお題目ではなく具現化しているか、それを謙虚に省みる機会にしたいと思います。

た。その会報が今回の発行で100号を迎えることになりました。創刊号は、B5版で黒刷り8ページのものでした。そこから号を重ね、第42号(1992年7月15日発行)からはカラー刷り、第54号(1996年7月15日発行)からはA4版となり、現在の形となりました。

創刊号をめくってみますと、そこには事業として、卒業生への記念品贈呈や課外活動費の補助、卒業謝恩パーティー(現在の卒業記念パーティー)の開催、見学並びに懇親会(現在の見学懇親会)が挙げられており、現在も教育後援会の事業として受け継がれているものが多くございます。このことは、教育後援会として、また追手門学院大学に子どもを通わせる保護者としての想いが当時も今も変わらないうことの表れでもあります。

会報の発行を重ねる中で、会員の皆様への情報発信の手段としてホームページを開設しましたが、2015年度にはこれをリニューアルし、スマートフォン

ンからも閲覧できるようになりました。今後は会報をホームページでもご覧いただけるように準備を進めてまいります。

さらに、ホームページに大学Facebookページを連携させたことで、大学の「今」を会報以外からも得られるようになりました。インターネットの普及により、これらの機能で会報が補完され、教育後援会の活動や大学をより身近に感じていただけるようになりました。

一方、教育後援会の事業では、奨学金や国際交流、就職にかかる支援を充実させてまいりました。これらが学生たちの成長を育み、輝かしい未来に向けた実りある学生生活の一助となりますことを願い、これからも変わることなく学生たちを支援し、時代に沿った事業を推進して参ります。

教育後援会会報を通じて、今後とも会員の皆様に活動をお伝えしていきたいと思えます。皆様方のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。



教育後援会
会報100号発刊を祝す

理事長 川原 俊明

今年、追手門学院大学は創立50年を迎えます。大学の発展とともに学生の保護者団体である教育後援会も、近年、ますます活発な活動をされていることに敬意を表します。これも、渡辺睦翁会長のもと執行部のみなさんの奮闘のおかげであり、多いに感謝申し上げます。そして、同会のもとで発刊された会報が、このたび100号に達したことを、心よりお喜び申し上げます。

教育後援会の会報は、同会の活動状況のみならず追手門学院大学の昨今の動向を会員のみなさまにお知らせいただく貴重な広報手段の一つであります。

また、教育後援会が主催する見学懇親会などを通じた会員同士の和気あいあいとした交流

は、保護者のみなさんが大学への理解を深めていただく契機になっています。それが最終的に、学生と大学の距離を縮める大きな役割を果たしていただいています。

昨年から、教育後援会も、他の校園のPTAとともに、追手門学院教育振興会に加盟していただきました。教育振興会のめざすところは、卒業生や保護者等のステークホルダーの結束を通じ、追手門学院とのつながりをより深めようとするものです。追手門学院が私学である以上、ステークホルダーのみなさんからのご支援なしに発展は望めません。同時に、教育振興会を通じ、学院と各団体との相互の情報交換を強固にすれば互いの活動状況が周知されます。

相互理解が深まれば、さらに大きな活動が期待できます。学院としても、ステークホルダーのデータの相互活用をさらに推進していきます。

そして教育後援会のさらなる活性化を大いに祈念いたします。来る教育後援会会報第200号は、データ送信、ペーパーレス化が実現しているかも知れません。

教育後援会会報 100 号までのあゆみ

昭和 41 年、学院創立 80 周年記念事業として大学設置が決定されました。設置が決定された当時の追手門学院各校、特に高等学校の PTA 会員であった父母の物心両面の協力があって開学が成し遂げられ、その父母が中軸となり、大学においても PTA が組織されました。PTA が組織された当時の父母の想いは今もなお受け継がれており、現在でも教育後援会は、「学生が大学で有意義に過ごせるようにサポートすること」を目標の一つにした心の通うあたたかい活動を続けています。



創刊号



追手門学院大学教育後援会は大学創立当初、大学 PTA と称され、会員と大学教職員との協力によって教育効果をあげようとする組織でしたが、大学全体への後援者として、より積極的に幅広く活動できるよう昭和 52 年に大学 PTA から「教育後援会」と改称されました。また、この翌年の昭和 53 年 10 月に「教育後援会会報」創刊号が発行されました。

発行された創刊号は活版で印刷され白黒でした。サイズも B5 版で今より小さなサイズの会報となっていますが内容は総会の承認事項、各課からのお知らせ・報告、就職・入試状況、クラ

ブ活動の報告等が掲載されています。創刊された当初から保護者の方が知りたいと思う内容や、教育後援会が保護者の方にお届けしたい内容は今と変わらないのだと感じます。「将軍山祭」、「見学懇親会」といった行事の様子や、「交換留学」の記事もが掲載され各行事の歴史の深さとともに早くから国際交流に力を入れていたのだということも伺えます。

1992 年には白黒だった会報がカラー印刷 となり、第 42 号を発行しました。大学創立 30 周年を迎える 1996 年の第 54 号からはサイズが今と同じ A 4 版へと変わり、より多くの記事を保護者のみなさまにお届けできるようになりました。学院創立 120 周年にかけて、新校舎、駐車場やさくら径などが次々と整備され、会報でも度々大学が新しくなる様子を掲載しています。

創立当時から 100 号まで、教育後援会の様々な活動を会報は学生の保護者のみなさまにお伝えしてきました。

教育後援会（大学 PTA）設立から 50 年が経ち、教育後援会会報は第 100 号を迎えましたが、これまで同様に学生が大学で有意義に過ごせるようにサポートすることを目標の一つとし、その活動を保護者のみなさまにお伝えできるよう尽力してまいります。



第 42 号



教育後援会 会報 100 号を迎えて

大学校友会会長
林田 隆行



このたび教育後援会の会報が 100 号を迎えることとなりました。既に皆様ご存じの通り、追手門学院大学は、今年創立 50 周年を迎えています。大学 PTA が教育後援会に名称変更されたのは 1977 年ですが、大学創立 50 周年の記念すべき年に奇しくも教育後援会会報が 100 号を迎えられるということになりました。

追手門学院大学は、学院の創立 80 周年を記念してその設立が企画され、1966 年 4 月に、現在の安威の地で開学されました。

初代学長天野利武先生のご努力の結果ではありますが、これを協力にサポートされたのは、時の理事長をはじめとする学院保護者の皆様のお力でした。開学は 2 学部 4 学科わずか 517 名の

会報 100 号発刊の節目にあたり

卒業生保護者の会会長
小林 武則



このたび教育後援会の会報が記念すべき 100 号発行を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

前身の PTA から 1997 年に「教育後援会」と名称変更した後に「教育後援会報」創刊号を発行し、そこから数えて 100 号とお聞きしました。大学 PTA は、大学が創設された 1966 年（昭和 41 年）に始まります。明治 21 年大阪偕行社付属小学校創設以来、中学、高校、大学、幼稚園を擁する総合学園へと発展し、追手門ファミリーの掉尾を飾る大学の後援会は学生と保護者のために様々な活動をされてきました。

2015 年には新しく地域創造学部が立ち上がり、就職活動に対しても梅田サテライトの支援を積極的に展開し

スタートでしたが、今や 6 学部 8 学科 6400 名を超える在校生を有し、5 万人を超える卒業生を擁する文系中規模大学へ発展を遂げました。追手門学院がそうであるように、大学もまた、保護者の皆様の支えによって、今日の発展につながってきています。今回の会報 100 号の発行は、まさにそのことの証であると言えるのではないのでしょうか。一口で 100 号と言いますが、当初は年 3 回、最近では年 2 回の発行を絶えることなくお続けいただいた結果であり、関係者のみなさまのご努力に頭の下がる思いです。改めて敬意を表させていただきますとともに、心から御礼申し上げます。

今後、会報発行をはじめ見学懇親会など有意義な活動を通して、追手門ファミリーの絆をさらに深めていただくとともに、これまで同様、積極的な大学支援をお続けいただきます様、お願いいたします。

次の 50 年、200 号の発行を目指して、追手門学院大学とともに教育後援会が益々ご隆盛となられますことをご祈念申し上げます。

教育後援会会報 100 号のご発行、誠にありがとうございます。

就職率は 99・1% となっています。大学の取り組みとしてアサティフプログラム・アサティフ入試なども導入され、昨年の入学志願者数の伸び率が全国で第一位となりました。学生一人一人が個性に満ち溢れ、有意義なキャンパスライフを送ることができ、

ことも、教育後援会の理念に基づき、大学と保護者、学生との間に意志の疎通が図られていることにほかなりません。追手門学院大学は 5 万人を超える卒業生を輩出しています。大学の評価は過去ではなく現時点での評価です。大きく変革を遂げようとしている追手門学院大学。教育後援会ではオープンキャンパス、就職講演会、見学懇親会など様々な活動を通して教育環境の向上、会員相互の親睦を目的に様々な活動をされています。これもひとえに歴代の役員様をはじめ、関係者の方々の追手門学院への熱い思いがあればこそだと思います。卒業生保護者の会と共に追手門学院大学の発展に寄与できれば幸いです。

今回の記念すべき会報誌第 100 号発刊にあたりお祝いを申し上げますと共に、今後ますますの盛栄をご祈念申し上げます。

記念事業の概要について

記念事業の概要

◆ブランド力の強化

◆教学の充実

- * 新学部・学科の設置
地域創造学部設置（2015年4月）
- * 研究・教育プロジェクトの実施
- * 課外活動の強化
女子ラグビー部、女子サッカー部の設置（2013年4月）
- * 国際教育の強化
イングリッシュカフェ（E-CO）の設置（2013年4月）
- * 自校教育の推進
学院志研究室の開設（2012年9月）
- * キャリア教育の強化
教職支援センターの設置（2013年5月）

◆教育環境の充実

- * 教学施設・環境の充実
学内の古墳等整備・公開（2014年3月）
- * 大阪梅田サテライトの開設（2012年4月）
- * トレーニングセンター（追Fit）開設（2013年12月）

本学は、建学の精神として「独立自強・社会有為」を掲げ、自主・自由・自立の旗のもと、魅力ある私学教育の実現と良識ある市民としての豊かな能力を備えた人格形成を目指してまいりました。

2016年の大学創立50周年に向け、ブランド力の強化、教学の充実、教育環境のさらなる整備、学外連携・交流の活性化などの記念事業を実施してまいります。

◆大学出版会の設立（2013年4月設立）

◆地域連携事業の推進

- * 連携考房 童子（2013年5月～2016年3月）

◆記念イベントの開催

- * 茨木市内高等学校新春吹奏楽の祭典（2014年11月）
- * 追手門ダンス表現フェスティバル（2014年11月）
- * 新春吹奏楽の祭典―地域・復興支援と音楽―（2015年1月）
- * 創立記念日の集い（2015年5月）
- * 追手門ダンス表現フェスティバル（2015年9月）

◆記念講演の開催

- * 第1回「自校教育のいま」（2012年12月）
- * 第2回「建学の精神と自校教育」（2013年11月）
- * 第3回「自校教育の展開」（2014年11月）

◆追手門学院大学イメージソング制定

- 「愛！ai！I！～自分史上、想像以上！～」（2016年4月）

◆大学50周年志（2016年5月発行予定）

◆大学50周年記念DVD（2016年5月発行予定）

◆大学創立50周年記念式典（2016年5月29日開催予定）

◆大学創立50周年記念祝賀会（2016年7月2日開催予定）

教育後援会の皆様へ～総合募金へのご協力のお願い～

平素は、追手門学院大学にご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、追手門学院大学は、本年2016年に創立50周年を迎えます。これを機にこれまでの取り組みに加えまして、新キャンパス地の確保並びに教学改革により一層邁進してまいります。

すでにご存知の方も多しとは存じますが、2012年より始めました「大学創立50周年募金」が最終年を迎えます。また、2015年4月からは「追手門学院創立130周年募金」が始まっております。

教育後援会の皆様におかれましては、「追手門学院 総合募金」趣意書をご覧いただきまして、なにとぞ追手門学院大学並びに追手門学院の教育事業にご賛同いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

追手門学院 総務室 周年事業推進オフィス

募 金 名 称 追手門学院大学創立50周年記念事業募金
募 金 目 的 大学における教学の充実、創立50周年記念事業の推進
募金目標金額 5億円
募 金 期 間 2012年4月～2017年3月31日
申 込 金 額 ※個人、法人とも口数や金額に関わらず、有難くお受けいたします。
 （個人を対象とするもの）1口1万円 できるだけ3口以上のご協力をお願いいたします。
 （法人を対象とするもの）1口の金額は特に決めておりません。

募 集 対 象 在学生・卒業生の保護者、在学生、卒業生、教職員、学院関係者、団体・法人企業、一般有志など

* 寄付金への減免措置につきましてはホームページをご参照ください。<http://www.otemon.jp/kifu/tax/index.html>

追手門学院の歴史資料提供のお願い

学院志研究室では、学院に関する資料を広く収集しております。ゼミ写真、クラブの写真、クラブのユニホーム、ノート、教科書等の思い出の品、何でも結構です。心当たりのある方は、処分する前に、ぜひご一報くださいますようご支援ご協力をお願いいたします。

連絡先

追手門学院大学 学院志研究室
 〒657-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15
 TEL：072-665-5062



50!

追手門学院大学

変わるもん、おうてもん。



大阪偕行社附属小学校の正門



旧1号館

追手門学院大学創立50周年記念

2018年、学校法人追手門学院は大きな節目を迎えます。

2016年、追手門学院大学は創立50周年、さらに2018年には追手門学院は創立130周年という大きな節目を迎えます。それぞれの節目を記念し、式典や新キャンパス、新施設の開設など、さまざまな記念事業を予定しております。

1966

昭和41年
追手門学院大学開学（経済学部、文学部）

1967

昭和42年
高等学部、大手前に一部残置し茨木校地に移転
同時に茨木校地に中等部を併設

1969

昭和44年
追手門学院幼稚園開園



開設当時のキャンパス

1973

昭和48年
大学院に文学研究科を開設

1979

昭和54年
大学院に経済学研究科（修士課程）を設置

2000

平成12年
大学院経済学研究科に
経済学専攻博士後期課程を増設

2006

平成18年
大学に心理学部、社会学部設置
大学院に経営学研究科設置

1995

平成7年
大学に経営学部、
人間学部設置

1999

平成11年
大学院経済学研究科に
経営学専攻博士後期課程
を設置

2007

平成19年
大学に国際教養学部設置

2008

平成20年
大学院に心理学研究科設置

2015

平成27年
大学に地域創造学部を設置

2016

平成28年
追手門学院大学創立50周年



現在のキャンパス

2018

平成30年
追手門学院創立130周年

創立50周年記念式典

2016年5月29日（日）、グランフロント大阪内にある「コングレコンベンションセンター」にて、創立50周年記念式典を開催することが、以下のとおり決定しました。
 当日は、在学生や社会人ゼミ生、大学教職員、中高教諭、保護者等で「第九」を合唱します。そのほかにも、卒業生で芥川賞作家の宮本輝氏のスピーチなど、50年間本学を支え続けてくださった方々へ感謝の気持ちをこめ、さまざまなイベントを行う予定です。

追手門学院大学 創立50周年記念式典
日 時：2016年5月29日（日）13：30～
会 場：グランフロント大阪
 コングレコンベンションセンター
プログラム：第1部 来賓・名誉フェローススピーチ
 卒業生・芥川賞作家 宮本輝氏 他
 第2部 ベートーヴェン交響曲第9番 合唱
 合唱：学院有志／演奏：大阪ハイドンアンサンブル

第九合唱練習の様子

「サントリー1万人の第九」の指導者で、追手門学院小学校の元音楽講師でもある声楽家の有元正人氏の指導のもと、全20回の練習を行っています。参加者は在学生や教職員等、総勢74名の有志。2015年6月の練習開始からドイツ語の発音に苦労しましたが、現在、第2期10回目の練習が終了した時点では徐々に形になってきています。一方で、練習参加人数が減少傾向にあるのも事実です。

そこで、第3期からでも参加可能な経験者を募集しています。歌の力で50周年を盛りあげましょう！



Pioneer's Voice



経営学部
マーケティング学科
市川 桃子さん
内定先：
三井住友ファイナンス
&リース株式会社
総合職

- ◆熱い気持ち
- ◆諦めない
- ◆元気

就職活動の
ポイント

私の就職活動で大切なものは、①熱い気持ち（を伝える）②諦めないこと。③元気の3つです。

私はこの3つで就活を乗り越えました。

まずは、学歴や資格の有無などで決めつけずに、行きたい会社、熱い気持ちを伝えることが大切です。私は大企業しか受けませんでした。挑戦するチャンスは誰にでもあります。

私は、内定をもらうまでの道のりが決して容易なものではありませんでした。最終面接がうまくいかず、大変悔しい思いをしました。

これで終わりたくない！と思い、面接後に人事部長に声をかけ、「もう一度御社への思いを伝えさせて下さい！」と直談判をしました。

内定後に「今まで沢山の学生を見てきたけどあんなことをしたのは君くらいだよ」と言われました。私の行動力と熱意が認められての内定だと思いました。

少し大胆な行動ではありましたが、「どうせ落ちるならやるだけやらないと気済まへん！」と行動した結果です。

本当に就職活動は何が起るか分からないです。諦めなかつたら、結果はついてきます！

最後に「明るく元気に」です。単純ですが

これがとても重要で、面接においては一番見られています。失礼致しますという一言目で印象が決まります。私はどの面接においても、誰よりも大きい声で話すことを終始心がけていました。「君、声が大きくて元気だね」「勢いがすごいね」と面接官に言われることも多かったです。また、そのような話し方をしていくと自然に、自信を持って自分をアピールすることが出来ます。

新卒の就職活動は人生で一度しかありません。辛くても諦めず、納得のいくものにしてほしいです。



経済学部 経済学科
横手 秀城さん
内定先：
株式会社マイナビ
総合職

- ◆常に自分の成長を意識する
- ◆いつも前向きにポジティブに考える
- ◆常に考えるより行動する

就職活動の
ポイント

私は就職活動を単なる職探しの場にするのではなく、これを通して成長をしたいと考えました。新卒での就職活動をしていく中で、たくさんの悔しい思いをし、落ち込むこともありましたが、落ち込む時間があるのなら次のいい結果を出すにはどうしたらいいのかを考えると貴重な時間だと思えます。

当時私は、将来の夢もなく、就きたい職業も定まっていなかった状態でした。そこであえて自分の中に幅を作らず、幅広くたくさんの業種の説明会に参加しました。自分の中で幅を作らずに自分の説明会に参加したことによ

て、自分がしたい職を見つけるきっかけにもなり、業種の比較がしやすくなりました。就職活動をしていく中で、たくさんの悔しい思いをし、落ち込むこともありましたが、落ち込む時間があるのなら次のいい結果を出すにはどうしたらいいのかを考えると貴重な時間だと思えます。

当時私は、将来の夢もなく、就きたい職業も定まっていなかった状態でした。そこであえて自分の中に幅を作らず、幅広くたくさんの業種の説明会に参加しました。自分の中で幅を作らずに自分の説明会に参加したことによ

うことが大切です。

また、学校の就職・キャリア支援課は親身に相談を聞いてくれます。上手く他人に頼りながら諦めずに最後まで挑戦し続けてください。

就職戦線を勝ち抜いた先輩達の声。
今後の参考にしてみよう。



2015年度の就職状況について

2015年度の就職状況における企業からの求人数は、2195社で昨年とほぼ同じでした。就職の内定については、内定時期は、ここ数年の状況から通年には変わりがありませんが、学生に対しては、就職活動のスケジュールが後倒しになることにより、選考期間が短縮されるため、早めの行動を意識することと、昨年の状況から後半になってもあきらめないことを伝えてまいりました。この結果、内定者総数（1021名）の約60%が、4年生の9月末までに内定を取り、残りの約40%が卒業までに取りました。後半は、前半の内定辞退の補填等で採用枠も少なくなり競争率の高い試験となりますが、昨年に比べて内定数が約100名増え、最後まであきらめずに努

インターンシップについて

学部・学科・学年の枠組みを超え、ランダムに編成したグループで課題に取り組むことを通じ、責任感・主体性・協調性・積極性・論理的な説明能力等実社会で活躍するために重要な資質・能力に気づき、これを伸ばすことを狙いとして実施しています。実社

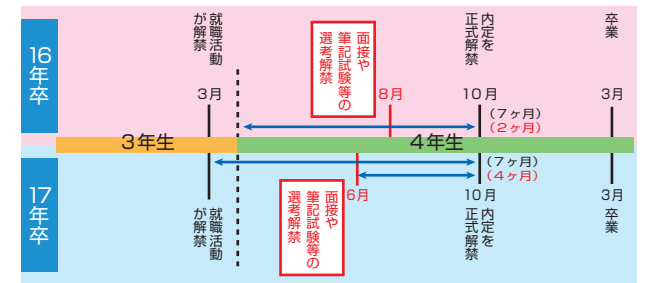
力した結果と思われます。また、前半に内定を取りながら、満足せず辞退し、後半に募集のあった企業にもチャレンジし、内定を取った事例もありました。このようなことが、進路先企業満足度98.4%という高い満足度に繋がったのではないかと思っております。

就職活動者を分母とした就職内定率は、99.1%と昨年より1.9ポイント上回り、過去最高の就職内定率となりました。ここにも最後まであきらめずに努力した結果が表れています。

なお、残念ながら就職が決定していない卒業生につきましては、大阪梅田サテライトで支援をしております。既卒者の求人枠を斡旋しておりますので、遠慮なくお越しください。

最後まであきらめずに努力すること、やればできると自分を信じ挑戦することは、卒業してからでも忘れないで欲しいと思っています。

2015年度 就職・インターンシップ・ 資格取得の現状について



※ 2016年3月卒と2017年3月卒の就職活動スケジュール

最後に

就職・キャリア支援課では、インターンシップや資格取得等実社会に出てすぐに役立つ支援や就職に繋がる支援を行っています。

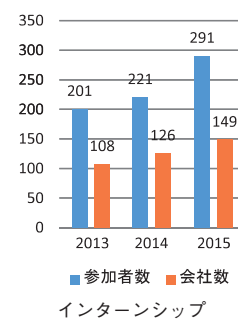
大学・教育後援会からの協力により、2015年度は「就

会での経験は少しでも早い方が良く、2015年度は、1年生から参加できるように対象学年を拡げました。この結果、291名の学生が149社（昨年比70名、23社増）のインターンシップに参加しました。

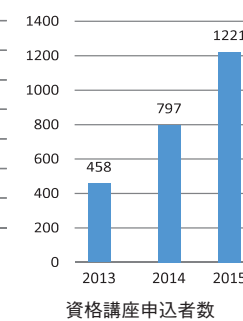
資格取得支援について

2015年度は、地域創造学部を新設し、学部の特徴を活かした形で「世界遺産検定」や「総合旅行業務取扱管理者試験」、公務員試験へのより細かな支援等で4講座を増やし、合計21講座を実施しました。延べ申込者は、1221名で昨年の797名より約1.5倍増加となりました。

それぞれの検定における合格結果は、比較可能な15資格のうち9資格で全国平均を上回る結果となりました。特に秘書検定では、昨年、文部科学大臣賞を受賞しましたが、今年も成績優秀校として特別表彰を受賞しました。



インターンシップ



資格講座申込者数

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

職模擬試験受験料」無料化、1年生を対象とした「基礎学力測定試験」を無料で実施しました。また、支援の充実の一つとして、2016年度からは、特定の資格等に対し、その資格を取得し申請を行えば奨励金を給付する「資格等取得奨励金制度」を大学校友会の協力を得て整備しました。

学内の行事や個別の相談を通じて、学生自身に様々な気づきが生まれるようにそして、主体的に行動できるように支援を行っています。これらは、学生の顔が見えてより具体的になりますので、是非とも就職・キャリア支援課の行事や個別相談に来ていただくとお伝えいただければ幸いです。

追手門学院大学創立 50 周年記念事業
2016 年度前期企画展

「宮本輝の今」開催中！

1. 日 程：2016 年 4 月 1 日（金）～
2016 年 9 月 30 日（金）
2. 会 場：宮本輝ミュージアム
（追手門学院大学附属図書館内）
3. 入場料：無料（一般公開）
4. 内 容：最新の連載小説に関する資料、「流
転の海」シリーズの作品紹介、最近
のインタビュー記事などの展示を中
心に、ますます精力的に執筆活動を
続けておられる作家・宮本輝氏の今
をご紹介します。

開館時間：9 時 20 分～19 時 50 分
（土曜日は 17 時まで）

休 館 日：日曜・祝日

夏期休業期間（8 月 4 日（木）～9 月
11 日（日））は開館日、時間が異なり
ます。

開館時間の変更、休館日につきまし
ては、図書館ホームページでご確認
ください。

<http://www.oulib.otemon.ac.jp/>

お問い合わせ先 072 - 641 - 9638
（図書館）

2016 年 4 月、熊本地震が発生し、甚大な被害をもたらしま
した。

被災者の皆様に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

一日も早く復興を果たされることをお祈りすると同時に、被
災された皆様が平穏な日々を取り戻せるよう、役員一同お祈り
申し上げます。

- ◆ 4 月 入学式（記念品贈呈・新会員歓迎会
保護者のためのキャンパスガイド発行
教育後援会第 100 号会報発行
教育後援会給付奨学金交付式
総会
教育後援会 DAY
保護者のための就職講演会
保護者のための講演会（学生相談室企画）
- ◆ 9 月 春学期末学位授与式・春学期末卒業記念パーティー
教育後援会給付奨学金交付式
見学懇親会
特別講演会
教育後援会会報第 101 号発行
保護者のための就職講演会
学位授与式（記念品贈呈・卒業記念パーティー）
- ◆ 3 月 2016 年度は右記のとおり行事開催を予定しておりま
すが、日程等変更となる場合もございます。開催前のご案内
内状にて詳細をご確認ください。

2016 年度 教育後援会行事予定

2016年度 学年暦																						
春 学 期																	秋 学 期					
9 ／ 23 (金)	9 ／ 11 (日)		8 ／ 4 (木)	8 ／ 9 (火)	8 ／ 8 (月)	8 ／ 4 (木)	8 ／ 3 (水)	7 ／ 26 (火)	7 ／ 25 (月)	7 ／ 23 (土)	7 ／ 22 (金)	7 ／ 18 (月)	5 ／ 29 (日)	4 ／ 29 (金)	4 ／ 6 (水)	4 ／ 5 (火)	4 ／ 4 (月)	4 ／ 2 (土)	4 ／ 1 (金)	3 ／ 31 (木)	3 ／ 30 (水)	
春学期末学位授与式		夏期休業		春学期集中講義			春学期末試験		補講②	補講①	火曜授業実施日 春学期授業終了	授業実施日（海の日）	学院創立記念日 （大学創立50周年記念式典）	授業実施日（昭和の日）	春学期授業開始	新生オリエンテーション	新生オリエンテーション	新生オリエンテーション	入学式 在学生によるイベント	在学生オリエンテーション 就職等資格オリエンテーション	在学生オリエンテーション 編入学生オリエンテーション	
3 ／ 17 (金)	1 ／ 31 (火)	1 ／ 23 (月)	1 ／ 21 (土)	1 ／ 19 (木)	1 ／ 18 (水)	1 ／ 17 (火)	1 ／ 16 (月)	1 ／ 7 (土)	1 ／ 5 (木)	2017年 1 ／ 4 (水)		12 ／ 27 (火)	11 ／ 23 (水)	11 ／ 7 (月)	11 ／ 6 (日)	11 ／ 5 (土)	11 ／ 4 (金)	10 ／ 27 (木)	10 ／ 20 (木)	9 ／ 19 (月)	9 ／ 12 (月)	9 ／ 6 (火)
学位授与式		秋学期末試験		秋学期集中講義			補講②	補講①	秋学期授業終了		3限に木曜1限授業を実施		2限より授業	冬期休業	授業実施日（勤労感謝の日）	大学祭（後片づけ）	大学祭	大学祭（準備）	避難訓練（予備日）	避難訓練	授業実施日（敬老の日）	秋学期履修に向けた オリエンテーション （1年生のみ）

2016年度就職支援行事

3 年 生	5月	A	第1回就職ガイダンス
		A	第2回就職ガイダンス
	6月	F	第1回就職模擬テスト
		M	第1回保護者のための就職講演会 6月4日(土)
	8月	E	筆記試験対策講座
	9月	A	第3回就職ガイダンス
		J	アドバンストセミナースタート(～2月)
	10月	A	第4回就職ガイダンス
		B	自己PR作成講座
	11月	A	第5回就職ガイダンス
		C	グループディスカッション対策講座
		G	女子学生ガイダンス
	12月	A	第6回就職ガイダンス
		D	面接対策講座
		F	第2回就職模擬テスト
		H	業界研究・優良企業セミナー
	1月	A	第7回就職ガイダンス
		A	第8回就職ガイダンス&就職活動壮行会
		E	筆記試験対策講座
	2月	I	就職活動「せなドンフェア」
		L	実践力養成セミナー
		M	第2回保護者のための就職講演会 2月25日(土)
	3月	K	学内企業説明会(合同・単独)

5月	K	学内企業説明会(合同)
7月	K	学内企業説明会(合同)
9月	K	学内企業説明会(合同)

※上記以外にも、就職状況に応じて以下の事業を適宜開催いたします。

K 学内企業説明会(合同・単独)

L 実践力養成セミナー

◆学内求人マッチング会

4
年
生



A 就職ガイダンス

就職活動を進めていく上で必要な知識の習得を目標に、適切な時期に適切なテーマで開催します。就職活動の流れ、自己分析、面接対策、企業研究、マナー指導といった、就職活動におけるポイントを中心に実施します。

B 自己PR作成講座

適性検査の結果に基づき、講師のコーディネートを受けながら自身の強みや特徴への気づきに繋がります。また、他の学生とのワークショップを行うことで、より客観的に自分自身を見つめ直すことができます。講座終了時には、自己PRが作成できていることを目指します。

C グループディスカッション対策講座

多くの学生が不安と苦手意識を抱くグループディスカッションを、模擬体験を通じて「慣れる」とともにポイントや採用担当者の視点を理解します。グループディスカッションは場数がかかるものという点もあり、この講座以外にも「8時間耐久グループディスカッション対策講座」を用意するなど、徹底して経験値を高めます。

D 面接対策講座

入退室から面接時の立ち居振る舞いといったマナーから、受け答えの仕方に至るまで、少人数による模擬体験を通じて実践力と自信を身につけます。プロの講師による指導と個人々人への具体的なフィードバックも受けられます。更には、「半日面接特訓講座」も用意して最終面接の対策も行うなど、幅広く面接指導を行います。

E 筆記試験対策講座

就職試験における頻出分野である、国語・数学・時事問題に内容を絞って、短期間での実力向上を目的に夏期および春期に開催します。理解度に応じた多様なレベルの講座設定も行っていきます。

F 就職模擬テスト

就職試験で多く採用されているSPI試験を年2回実施しており、自身の実力確認と今後の対策として活用できます。最近主流となっているテストセンター受験の経験もできます。

G 女子学生ガイダンス

女性としての人生の節目を見据えた上で自身のキャリアプランを考え、どのような働き方や仕事があるのかを理解することで、自分らしい働き方と仕事選びができる力を身に付けます。

H 業界研究・優良企業セミナー

実際に現場で活躍中の企業の方を講師として学内にお招きし、体験に基づく具体的な仕事内容や職業観についてお話しいただきます。大手企業や有名企業を中心に様々な業界から講師をお招きします。2015年度の開催実績は、食品、スポーツメーカー、金融、マスコミ、小売、ホテル・旅行、建設、運輸、官公庁などです。

I 就職活動「せなドンフェア」

就職活動本番直前に、不安の解消と活動準備の総仕上げ、そして一歩前に踏み出す自信と勇気を持ってもらうことを目的に開催します。2日間、学内の各教室に様々な支援メニューを用意しますので、自分に必要な支援メニューを選んで時間内自由に回ります。

J アドバンストセミナー

就職活動に対する意識・スキルが高い学生を集め、採用ハードルの高い人気企業や上場企業への内定を目指す、就職活動トップ集団育成を目的に実施します。申込条件を設けるとともに学内選考を行い、選ばれた学生には半年以上に及ぶ特別セミナーを行います。

K 学内企業説明会

本学への採用意欲が高い企業や採用実績のある優良企業を学内に招いて、企業概要や採用情報を伝えます。ここでの出会いが内定に繋がるケースも多いことから、就職状況に応じて年間に複数回実施します。

L 実践力養成セミナー

8時間耐久グループディスカッション対策講座、半日面接特訓講座、就職活動1日完結講座など、長時間徹底型のプログラムを多数展開。大きな成長が実感できるセミナーです。

M 保護者のための就職講演会

今の学生を取り巻く就職活動の状況理解、保護者としての学生との関わり方、更には本学のキャリア支援・就職支援や就職実績について、年に2回講演会を開催して説明を行います。

注) 行事日程は、就職状況や気象警報等により変更する場合があります。なお、具体的な内容等につきましては、後日改めて UNIVERSAL PASSPORT に掲載いたします。